

神海丸専攻科通信 第1号

浜田出港

9 月 14 日 14:30 神海丸は、隠岐水産高校の海洋テクノコース 15 名、エンジニアコース 15 名 専攻科生 11 名。

浜田水産高等学校 専攻科生 9 名の実習生総員 50 名を乗せ浜田港を出港しました。

出港時には、浜田水産高校の海洋技術科 3 年生達が実習船あわしま、みずたかに乗って見送りに来てくれました。



操練

浜田出港後には、操練を行い、専攻科生は救命胴衣を素早く着こなしていました。



北朝鮮ミサイル日本通過

出港した明朝 15 日 7:00 頃 北朝鮮が弾道ミサイルを発射、襟裳岬 2000 キロ沖の太平洋に落下しました。神海丸は、その頃は、新潟沖を航海中でしたがミサイル発射のを知り、実習生達も驚いていました。

津軽海峡通過し、太平洋へ

台風 18 号の影響を避けるため、日本海を北上し北海道と青森県の間にある津軽海峡から漁場に向かうことに、16 日の海峡通過中には航路見学をしました。生徒達は

携帯電話が使えるのも今日で最後になるので電波が届くギリギリまで電話していました。

操業準備作業

浜田出港翌日からは、漁具の整備作業が始まりました。これから、漁場に着くまでの間、専攻科生は午前中は漁具整備、午後は教官の授業もしくは課題等の学習が続きます。台風の影響により船が動揺する中、専攻科生達は一生懸命作業を行っていました。また、機関部では、マグロを冷凍で運ぶ際、日本まで冷凍装置の故障がないよう入念な整備が専攻科生も手伝いながら行っています。



海洋観測開始

9 月 18 日からは 0 時、6 時、12 時、18 時の 1 日 4 回 5 日間、観測機器を水深 1000 m まで沈め、水温や塩分濃度等を測定する作業を交代で行います。これは、マグロ操業中も毎日行い、データは国の機関に報告しています。



最後に、出港式に参加していただいた保護者の皆様ありがとうございました。定期的に神海丸専攻科通信で実習生達の近況をお伝えしていきたいと思ひます。

【教官 T】